

第十回 竜成の会

令和七年四月二十七日(日)午後二時開演

(午後一時開場)
於 金剛能楽堂



解説

仕舞 「鞍馬天狗」

義経は幼名を牛若丸と言ひ、母の常盤御前の元を離れ、鞍馬寺に預けられていました。ある日、牛若丸は鞍馬山の満開の桜の下で一人の山伏と出逢います。山伏は牛若丸の素性を知り、彼の素直な心に感じ入って一緒に桜の名所を巡り心を慰めます。実はこの山伏は鞍馬山に住む大天狗・僧正坊で、平家討伐を夢見る牛若丸に「兵法の秘術を伝授しよう」と言ひ、師弟の契約を結びます。

やがて兵法を伝授し、僧正坊は別れを告げますが、いくら器量に優れた御曹司とは言え、まだ幼い牛若丸は思わず天狗の袖に縋り付きます。僧正坊は名残惜しく思ひ、平家討伐の際には牛若丸のそばに寄り添って力を貸す事を約束して、鞍馬山に飛び去ります。

僧正坊は恐ろしい天狗の姿をしていますが、厳しさと優しさを兼ね備えた人格者として描かれます。もしかしたら牛若丸は僧正坊に父親の姿を重ねていたのかも知れません。仕舞では僧正坊が牛若丸に別れを告げるシーンを演じます。

鶴田流琵琶 「那須与一」

那須与一は、屋島の合戦において源氏方の弓の名手として活躍した人物です。夕暮れ時に、平家方より舟を二艘近づけ、扇的として掲げ「これを射落としてみよ」とばかりに手招きして源氏軍を挑発します。義経が軍勢の中から一番の弓の使い手と呼ぶように命令すると、まだ十七歳だった那須与一が選ばれます。源平両家の兵達が見守る中で、源氏の名誉をかけた一矢を見事的中させる名場面は後世まで語り継がれています。

「扇的」の江戸ソードは日本の教科書にも登場する有名な話で、様々な芸能でも演じられています。この度は歌人・琵琶法師の蟬丸を祭神とする関蟬丸神社のご縁を通じて、鶴田流琵琶の熊田かほり様にご出演頂く事が実現しました。主催者の私とても楽しみにしています。

能 「安宅」

平家討伐を果たした義経は、兄・頼朝から謀反の疑いをかけられ、都を落ちる事になります。一行は全国を行脚する山伏の姿に身をやつし、奥州藤原氏を頼ります。頼朝はこの情報を耳にし、全国に新しい関所を設け山伏達を厳しく取り調べます。

加賀の国・安宅の関守は一行を怪しんで止めると、先達に扮する弁慶は東大寺勸進の為に諸国を廻る山伏であると偽ります。そして関守の前で勤行を見せ、勸進帳を読み上げ、誠の山伏である事を証明し関を通るうとします。

しかし、関守は後ろを歩く強力姿の義経を見咎め、制止します。一行は直ちに引き返し、弁慶は義経に似た強力のせいで足止めを喰らったと怒り、金剛杖で義経を打ち据えます。それでも関守は義経を通さないと言うので「さては強力を持つ笈の中身を狙っているのだな」と関守達を盗賊呼ばわりして、山伏一同は気負い立ち関守に迫ります。山伏達の威勢に気押された関守は、ついに非を認め一行を通します。

一行は関から遠かった所で休息を取り、弁慶は義経に深々と頭を垂れ、この手で主君を打ち据えた事を嘆きます。義経は弁慶の機転によつて命が助かった事は八幡大菩薩の加護のおかげだと言ひ弁慶の心を慰めます。そこに先程の関守が訪ねて来て、先刻の非礼を詫び一同に地元酒を勧めます。弁慶は舞を舞い酒宴を盛り上げつつ、頃を見計らって一同はその場を立ち去り、奥州へと下つていきます。

対談

勸進帳を紐解く

仏師 浅村 朋伸 × 宇高 竜成

仕舞

鞍馬天狗

金剛 永謹

地謡

向井 弘記
豊嶋 晃嗣
金剛 龍謹
宇高 徳成

鶴田流琵琶

那須与一

熊田かほり

(休憩三十分)

能

立衆 種田 道一
立衆 惣明 貞助
立衆 中村 洋臣
立衆 湯川 稜
立衆 山田 伊純
立衆 豊嶋 幸洋
子方 松本 一真



シテ 宇高 竜成

安宅

ワキ 有松 遼一

大鼓 河村 大和
小鼓 林 大和

笛 杉

信太朗

間狂言 茂山 忠三郎
山本 善之

廣田 幸稔

地謡

向井 弘記
豊嶋 晃嗣
今井 克紀
今井 松野
重本 昌也
龍 謹

後見 金剛 永謹
宇高 徳成

(終了予定 午後五時頃)



あさむら ともはる
浅村 朋伸

1975年生。大阪府出身。奈良県大和郡山市にて仏像の制作、修理を行う。山伏の修行道を山伏、研究者、クリエイターらに案内する活動や、縄文、弥生、古墳時代の古代琴の復元制作を通して、古代の浄水を用いた儀礼、葬送儀礼にみられる日本の精神文化を推考し、古代琴を使用した楽曲制作を国内外の音楽家に提案する活動なども行なっている。

くまだ かほり
熊田かほり

早稲田大学卒。宮城県出身。第46回日本琵琶楽コンクール第1位(最年少記録)ほか邦楽コンクール受賞歴多数。石川さゆり邦楽バンド、坂本冬美バンドのメンバーとして、公演とCDに参加。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、アニメ「うしおととら」、ゲーム「モンスターズトライク」等のメディア作品にも数多く参加し、テレビ・ラジオ番組に定期的に出演。後進の指導にも尽力し、早稲田大学「琵琶サークル琵琶沙門」の師範を勤める他、自身の琵琶教室も主宰している。Official WEB <http://www.biwa-kahori.com/>



ご挨拶

2015年より始まりました竜成の会は、これまで多くの方々にお力添えを賜り、今回で十回目を迎える事となりました。ここに改めまして御礼申し上げます。

また、2020年・第六回より続けて参りました「関蟬丸神社勸進能」は今回が最終回となります。この度、金剛流二十六世宗家・金剛永謹先生のお許しを得て、勸進能の締め括りに大曲「安宅」を勤める事となりました。

能「安宅」は平安時代の武将・源義経を主人公とする「義経記」を原典とし、兄・頼朝の追手から逃れる為、諸国を廻る山伏に扮して、加賀の国・安宅の関を抜けようとする場面を描きます。この物語の中で武蔵坊弁慶は東大寺修復の為の「勸進帳」を関守の前で読む事になります。

今回は、まずはじめに仏師・浅村朋伸氏との対談で「勸進帳とは何か」を紐解いて参ります。そして金剛永謹御宗家による仕舞「鞍馬天狗」、鶴田流琵琶奏者・熊田かほり様による琵琶演奏「那須与一」、そして能「安宅」と、義経の生涯を軸に「勸進帳と勸進能」「関蟬丸神社と琵琶」をつなぐ舞台をご披露いたします。

およそ十年前に踏み出した一步をきっかけとして、これまで様々な人や物語と出逢う事ができました。この十回目の節目の会も、ご来場賜ります皆様と共に「一期一会」の瞬間を積み重ねて参りたいと思います。ご高覧の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

うだか たつしげ
宇高 竜成 金剛流能楽師



1981年京都生まれ。二十六世金剛流宗家・金剛永謹、及び父・宇高通成に師事。初舞台は3歳。子方時代を経て、プロの能楽師となる。舞台活動の傍ら、初心者にもわかりやすく楽しめる「能楽ワークショップ」を企画し、フランス、韓国、アメリカなど海外でもワークショップを行う。2015年より自主公演「竜成の会」を主宰。2017年よりYoutube「竜成の会」チャンネルで動画配信を開始する。2019年「関蟬丸神社芸能大使」に任命される。2020年に京都市芸術新人賞を受賞する。2023年に重要無形文化財(総合認定)に指定される。現在京都を中心に活動中。



第十回 竜成の会

関蝉丸神社勧進能

令和7年4月27日(日) 午後2時開演/午後1時開場
於 金剛能楽堂

The 10th Tatsushige no Kai
Sekisemimaru Shrine Kanjin Noh
- Noh Performance to Raise Funds for Shrine Repairs -

27th April 2025 (Sun) 2 p.m.(doors open at 1 p.m.)
Kongo Noh Theatre Ataka

第十回 竜成の会 「安宅」

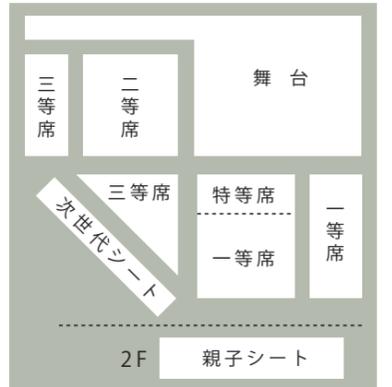
日時 令和7年4月27日(日)
午後2時開演 (午後1時開場)

場所 金剛能楽堂

京都市上京区烏丸中立売上ル「今出川」駅から徒歩5分
駐車場はございませんので、京都御苑の一般駐車場をご利用下さい

今出川通		地下鉄烏丸線 「今出川」駅 6番出口	●市バス 「烏丸今出川」
一条通		とらや ●金剛能楽堂 府民ホールアルティ	●市バス 「烏丸一条」 京都御苑
中立売通	新町通	室町通	●中立売御門 P

入場料	指定席	【特等席】 18,000円 (竜成の会オリジナルグッズ付き)
		【一等席】 12,000円
		【二等席】 9,000円
	自由席	【三等席】 6,000円
		【次世代シート】 3,000円
		【親子シート】 7,000円 (2名分) ※1名追加につき 3,500円



竜成の会では能楽により親しんで頂く為に下記の取り組みを行っております。

- 次世代シート** 次世代の能楽ファンを育てる目的でご用意しました。お能を初めてご覧になる方、学生の方、舞台芸術を志す方、これらの条件に一つでも当てはまる方がお買い上げ頂けます。(証明書等は不要)
- 親子シート** 6歳以上のお子様(お孫さんも可)とご一緒にお座り頂けるお席です。お子様と一緒に本物の芸術体験をどうぞ。二階席は親子限定シートなので、リラックスしてご覧下さい。
- 歌詞テキスト** 竜成の会では、歌詞テキスト・現代語訳付きの謡音源もお楽しみいただけます。事前にご鑑賞いただく事で、お能の台詞が聞き取りやすくなります。(チケットご購入後にダウンロードリンクをお知らせします)

チケット売上の一部を寄進者名簿とともに関蝉丸神社へ奉納します

- チケットの販売**
 - 電子チケット予約サイト teket (テケト) <https://teket.jp/1133/44156>
座席表から指定可能(カード決済・コンビニ決済)
 - 竜成の会 事務局 E-mail: info@tatsushigenokai.com
チケットをお手元へお届けします(銀行振込)
 - 金剛能楽堂 TEL. 075-441-7222
三等席のみのお取り扱い(その他のお問い合わせは竜成の会事務局へ)



チケット発売日
2月1日(土)
正午 12:00 ~

※当日券は、残席がある場合のみ販売いたします。 ※上演中の許可のない写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。 ※公演中止の場合を除き、入場券払い戻しはできません。

スタッフ 宣伝美術=田中嘉代(かよくらふと) WEBサイト制作=高瀬フヒト 制作=清水翼(KANKARA Inc.)
協力=関蝉丸神社 主催=竜成の会

宇高竜成 後援会 **タツシゲの会** (入会金・年会費: 無料)

年に一度の竜成の会のご案内の他に、定期的に YouTube 竜成の会チャンネルを通じた文化情報の発信や、宇高竜成の公演情報をお知らせします。また会員限定の竜成の会のチケット先行予約も致します。是非この機会にご入会下さい。



第七回竜成の会「蟬丸」 撮影:高瀬フヒト